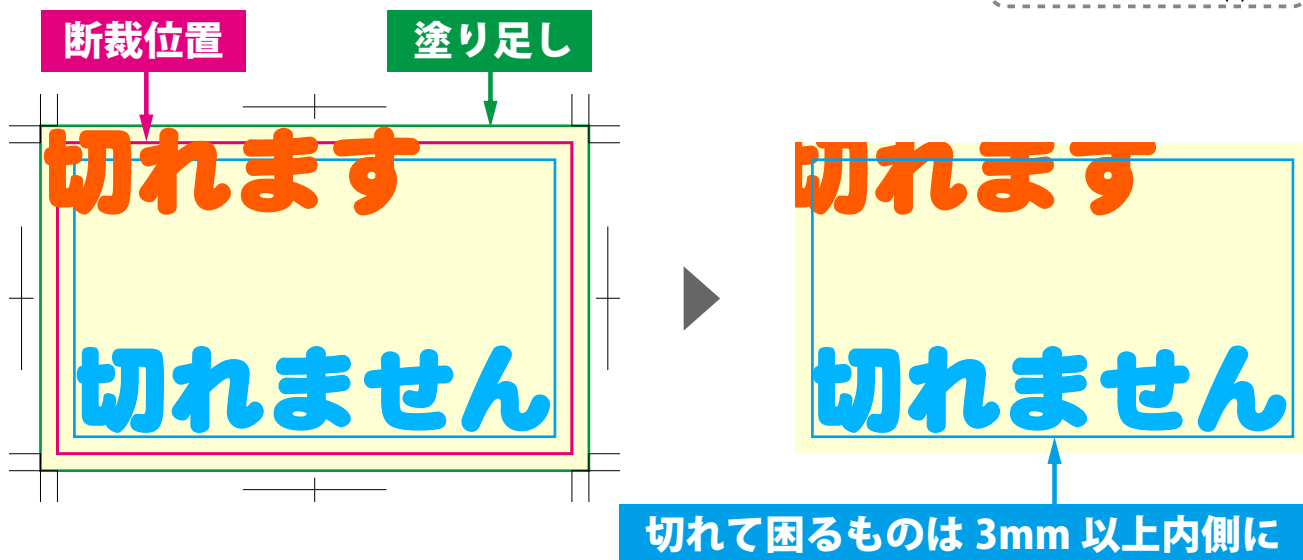
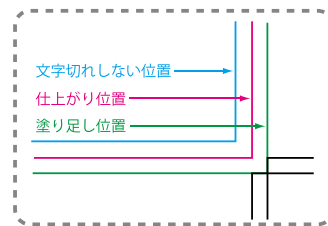


塗り足しのご説明

印刷物を何枚も重ねて一度に断裁を行います。その際に、印刷物の紙端に余白が出ず、背景や絵柄が紙の端まで（フチなし）印刷されるために、データの作成時に「塗り足し」を作る必要があります。



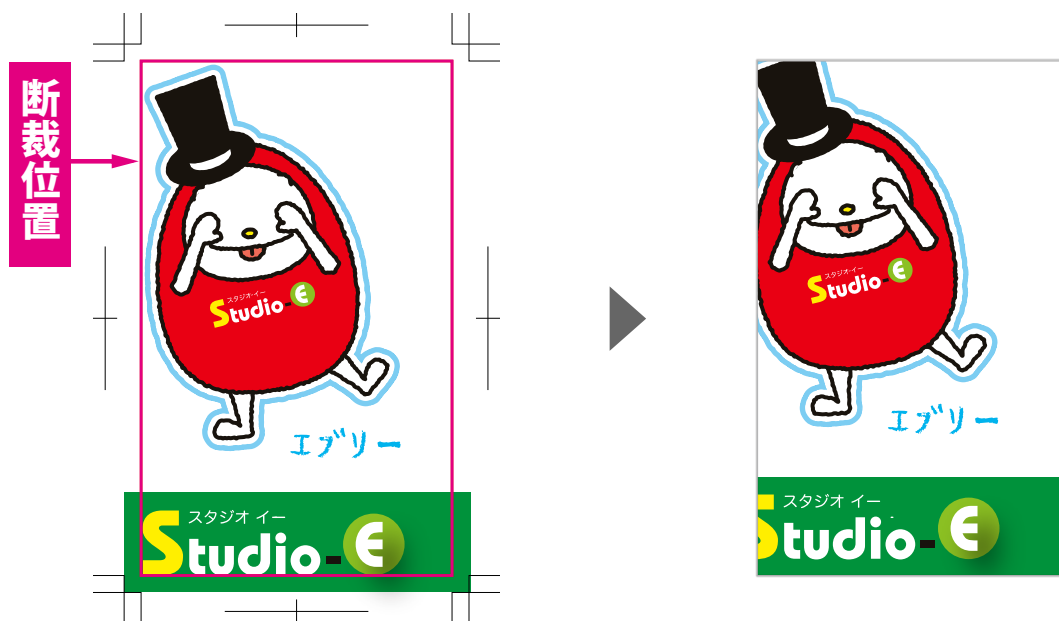
フチなし印刷用データを作成する時、本来の仕上がりサイズより外側に 3mm（印刷物によっては 3mm 以上）はみ出させておく必要があります。

そのはみ出させた部分を「塗り足し」といいます。

塗り足しの部分は、断裁時に切り落とされます。

仕上がり位置に文字が近すぎると、断裁がずれたときに文字が切れてしまう恐れがあります。

切れては困る文字やデザインなどは、仕上がり位置から 3mm 以上内側に配置しておく安全です。



塗り足しがない場合、印刷工程に進む前に、お客様にデータを差し戻し、修正・再入稿していただく可能性が出てきます。